公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ウキウキはなさく石橋教室 (児童発達支援)		公表日		2025年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	☐		学習スペース、活動スペース共に十分な広さを確保できています。	今後もご利用様が怪我無く快適に活動できるように配慮してまいります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	☐		配置基準を守り、適切に配置しています。	保護者様のご希望に添いながら、今後も十分な職員配置を行い、より良いサービス提供を心がけてまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	☐		バリアフリー化の配慮した構造スロープや手すりを設置しています。ポスター掲示やホワイトボードでの予定表示などの視覚支援を行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	☐		毎日の清掃の仕方を全スタッフが統一して行えるようマニュアル作成を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	☐		個別の部屋を設けております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	☐		毎日の職員ミーティングや課題検討などで随時意見交換を行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐		アンケート調査以外にもご意見ご要望をいただく場面を設け、今後の課題として業務改善に努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐		毎日の職員ミーティングや社内研修の課題検討などで随時意見交換を行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	☐		第三者による評価を基に、業務改善に努めています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	☐		社内研修を行っています。外部研修への参加も積極的に行っています。		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ウキウキはなさく石橋教室 (児童発達支援)	公表日	2025年 4月 1日
------	-----------------------	-----	-------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページに掲載しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		お子様と保護者様のニーズを把握し、様々な職員からの意見を取り入れ個別支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画を職員間で共有して支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		契約時に基本情報という様式や発達検査結果などを提出いただき、お子様の初期状況の情報提供をいただいています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		こどもの支援に必要な項目を適切に設定し、その上で、具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		様々なスタッフの意見を取り入れ、来所する利用者様の発達段階や特性に見合った活動プログラムの立案をしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		こども会議などでお子様との気持ちの交流をしながら決定することもあります。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ウキウキはなさく石橋教室 (児童発達支援)			公表日	2025年 4月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別課題と集団活動時の課題の両方の視点から個別支援計画を作成し、それを職員間で共有しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前、毎日ミーティングを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員間での振り返り共有をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個別支援計画に基づき支援記録を記入しています。支援計画の見直しや作成に活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを実施し、保護者様のニーズ・支援記録・中間評価なども参考に計画の見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	○		ガイドライン総則の基本活動を元に複数組み合わせ、支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自己決定をする機会や場面を設け、自己決定をする力を育てるための支援を行っています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		お子様の状況に精通した担当者複数名で参画させていただいています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関と連携して支援を行う体制を整えています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ウキウキはなさく石橋教室 (児童発達支援)			公表日	2025年 4月 1日
関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○		保護者様に予定表をご提出いただき、不明な点は学校に問い合わせさせていただいてます。トラブルによる送迎の遅れ等、事前連絡を行ってます。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		児童発達支援事業所や保護者様からの情報共有で相互理解に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		放課後等デイサービスでの支援内容等の情報の提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		地域や行政で行われている研修を受ける機会を設けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		障害のないお子様との活動をする機会を設けています。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		開催される場合は積極的に参加させていただいています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日頃から送迎時にご家庭での様子を伺い、教室での活動の様子をお伝えし、共通理解の元支援していけるよう努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		情報提供は、専門職のアドバイスのもと、随時行っております。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に重要事項説明書や契約書の説明を通してお伝えしています。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ウキウキはなさく石橋教室 (児童発達支援)		2025年 4月 1日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的にモニタリングを実施し、こどもや保護者様のニーズ・支援記録・中間評価なども参考に計画の見直しをしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		作成した書面を示しながら説明し、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時、子育てや障がいについてのお悩みやご相談に応じています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		前年度より保護者様に見に来ていただく作品展などの機会を設けております。	今後も引き続き保護者様も参加できるイベントなどを増やしていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時の書面にて苦情・相談窓口の記載をしています。今後も継続して苦情・相談があった際はすぐに対応してまいります。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的に通信等を発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		全スタッフ入社時に秘密保持について契約書を交わし、徹底しています。	今後も社内研修にて『個人情報保護』について学び、取り扱いに留意していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		適宜適切な方法で対応をさせていただいています。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ウキウキはなさく石橋教室 (児童発達支援)	公表日	2025年 4月 1日
-------------	-----------------------	------------	-------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		コロナ渦以降開催できていませんが、感染予防対策を行いながら随時行っていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアル作成し、研修・訓練を行っています。保護者様へは契約時に書面でお渡ししています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、研修・訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者様からの情報(医師の指示も含む)に沿った対応、且つ全職員に周知しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様からの情報(医師の指示も含む)に沿った対応、且つ全職員に周知しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急連絡先は、年度初めに最新のものを確認しています。緊急時の対応などは年度初めには改めてお手紙を配布して周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		全職員が閲覧できるよう、ヒヤリハット事例集をファイリングし、再発防止策も検討した上で共有しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ウキウキはなさく石橋教室 (児童発達支援)				公表日	2025年 4月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止の研修を半年に一度実施しています。外部研修へも積極的に受講しています。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		「身体拘束を行わない」という方針のもと、専門性の向上に努めています。		